【 検査 】

371 抗ウイルス療法治療中におけるHBV核酸定量の連月の算定について

《令和6年11月29日》

○ 取扱い

B型慢性肝炎又はB型代償性肝硬変に対する抗ウイルス薬治療中のD023「4」HBV核酸定量の連月の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

HBV核酸定量は、B型肝炎ウイルス量を定量的に測定する検査である。血清ウイルス量は、HBV感染及び肝炎の活動性を反映し、その予後や治療効果判定の指標ともなることより、その変動はモニタリング指標としても有用性が高い。

以上のことから、B型慢性肝炎又はB型代償性肝硬変に対する抗ウイルス薬治療中のD023「4」HBV核酸定量の連月の算定は、原則として認められると判断した。